

# ふくしま共創のまちづくり計画

## 松川地区（素案）

作 成：松川地区まちづくり計画策定懇談会  
事務局：松川支所内  
電 話：（０２４）５６７－２１１１

## 地域ビジョン

- （１）歴史、文化、豊かな自然と農業が調和した潤いのあるまち
- （２）安全・安心な生活を地域ぐるみで支えるまち
- （３）多彩な風土が生み出した地域資源、観光資源の有効活用によるにぎわいのあるまち
- （４）美しい景観の中に、子どもから高齢者までみんなが集う楽しいまち



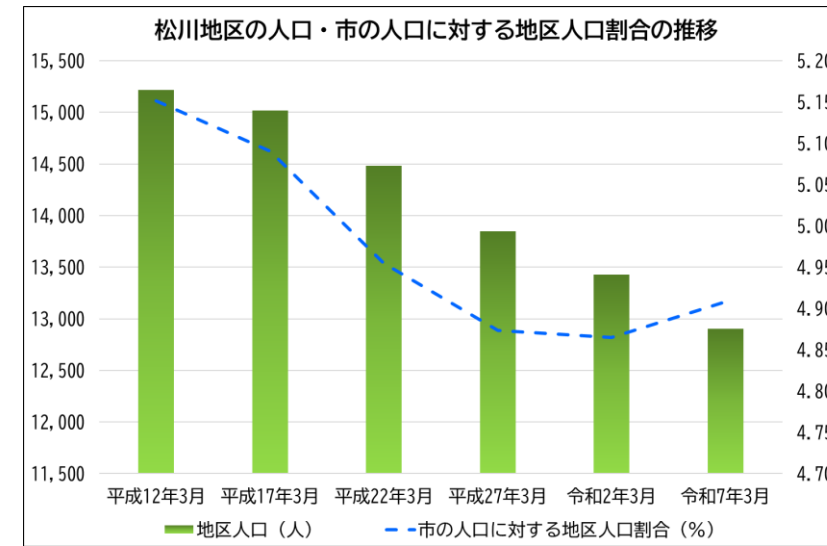
【八丁目宿：めがね橋】

## 地域の個性

- 【位置】本市南部の丘陵地に位置し、西部には笹森山など700m級の山が連なり、麓からは水原川が中央部を、弘川が南部を東西に流れ、東部には阿武隈川が南北に流れています。
- 【自然】水原のクマガイソウや土合館公園のアジサイ、芳水の桜、西郷の夫婦桜、諏訪山の桜、右輪台山しだれ桜、弥惣治沼の桜など花に囲まれ、県指定名景勝地「阿武隈峡」、市名木保存樹林に指定されている黒沼神社（沼袋）の杉樹林や水原川沿いに広がる田園風景など四季を通して美しい自然に恵まれています。
- 【施設】福島大学・県立医科大学があり、さらに福島市立松陵義務教育学校が開校し、福島大学や義務教育学校による「まつかわ学」も進められており、人的交流が活性化しています。
- 【交通】国道4号・東北自動車道及びＪＲ東北本線が南北に縦断し、ＪＲ松川駅・金谷川駅や松川スマートＩＣが交通の拠点となっています。
- 【歴史】八丁目城址・本陣跡・めがね橋・宇輪台遺跡・杉森神社戴澤碑などの史跡や宿場町として栄えた八丁目宿など歴史資源があります。
- 【産業】米・果樹を中心に農村地帯が広がりを見せる一方、松川工業団地を中心に各種製造業が立地しています。
- 【地域の行事】松川提灯祭り・金沢羽山ごもり（国指定重要無形民俗文化財）に代表される伝統行事や水原の新そばまつり、土木遺産に認定されためがね橋のライトアップなどがあります。また、「松川町の朝市」も開催されています。



【松陵義務教育学校】



松川地区の基礎データ（R7.9末現在）		
項目	松川地区	市全体
面積	63.07km <sup>2</sup>	767.72km <sup>2</sup>
人口（人）	12,938	262,122
	（市全体の4.9％）	
	15歳未満	29,778
	10.2％	11.4％
15～64歳	7,215	148,788
	55.8％	56.8％
65歳以上	4,408	83,556
	34.1％	31.9％
世帯数	5,827世帯	125,001世帯

## 地域の取り組みの実績

- （１）クマガイソウの里まつり・新そばまつり：絶滅危惧種指定のクマガイソウの保護と魅力の発信に取り組み、特産である蕎麦のPRを行っています。
- （２）松川町あじさい小路：土合館公園を中心に約5,000本のアジサイの手入れと周辺環境の美化に取り組み、花々の魅力を発信しています。
- （３）松川提灯祭り：12台の提灯山車が練り歩く例大祭で地域ぐるみで盛り上げています。
- （４）地域の孫を見守り隊：児童の下校時に通学路や学校周辺で立哨活動を行っています。
- （５）地域安全点検・防犯・支援活動：防災マップの作成により地域の危険箇所を明確にし、安全なまちづくりを目指しています。併せて、詐欺被害防止の啓発や防犯パトロールを実施しています。松川町お出かけサポート会の高齢者移動支援や、子ども食堂の運営を通じて子どもの居場所づくりや食支援を行い、暮らしの安全と支援体制を強化しています。
- （６）観光案内板の設置、文化財・史跡ガイドマップ作成：観光・史跡案内板や地域ガイドマップを作成し、観光振興を図っています。
- （７）福島大学との連携による交流活動：学生と地域住民が協働して田植えなどの農作業体験を行い、世代間交流と地域資源の保全に取り組んでいます。
- （８）まちづくり計画推進懇談会の自主活動で検討した成果は関係団体と共有し、連携強化に活かしています。
- （９）「松川町の朝市」開催による地元産品の販売を通じて、地域資源と産業の魅力発信を一体的に進めています。

## 地域の強みとなる資源

- （１）国道13号福島西道路南伸大森（県道南福島停車場線）～松川町浅川（国道4号）まで国道13号福島西道路の南伸により、新たな地域資源の創出が期待されます。
- （２）松陵義務教育学校の開校  
確かな学力、豊かな人間性や社会性を育むことが期待されます。

- (3) 福島大学との地域連携  
各分野における、地域と福島大学との連携により、地域の活性化が期待できます。
- (4) 史跡・文化財・自然・花の活用  
八丁目城址や旧宿場町などの史跡・文化財に加え、田園風景が広がる自然や多くの花を活用した観光振興に期待が持てます。
- (5) 松川地区公共交通地域協議会の設置  
松川地域における公共交通のあり方や対応策について協議が進められています。

## 地域課題

- (1) 人口減少や農業等の後継者不足に対応した過疎化対策と商店街や農村地帯の活性化
- (2) 松川スマート I C の周辺道路整備と主要地方道土湯温泉線、霊山・松川線、川俣・安達線など幹線道路の整備促進
- (3) 宿場町として栄えた歴史資源や伝統文化の保存と活用
- (4) 花をテーマにした観光資源を活用したにぎわいの創出
- (5) 地域内における移動手段の確保
- (6) 防災マップ作成整備等による安全・安心なまちづくり
- (7) 未来を担う子どもたちの健全育成活動
- (8) 廃止となった公共施設の有効活用



【クマガイソウ】

## 重点的な取り組み

### I 地域コミュニティ

- 【方 針 1】地域活性化のため地域住民全員が参加しまちづくりを進めます。  
(拡充) 町内会加入促進のための啓発活動を進めます。  
(継続) 環境美化活動とともにごみ分別の徹底を図り、ごみ減量化・資源化を推進します。  
(継続) 公園など憩いの場の協働管理に努め、活用を図ります。  
(拡充) 地区内の各種団体が連携できる組織体制づくりの協議を始めます。  
(新規) 福島大学と連携し、学生の意見を取り入れながらまちづくりを進めます。

### II 安全・安心

- 【方 針 1】住み慣れた地域で子どもから高齢者まで安心して生活できる社会づくりを、地域ぐるみで推進します。  
(継続) 通学路及びスクールバス乗降時の見守り活動と交通安全教育を実践します。  
(継続) 関係機関と連携し防犯パトロールを実施するなど、防犯啓発活動を推進します。  
(拡充) 防災マップの作成、地元企業と連携した避難箇所の充実、各町内会における自主防災組織の活性化などを踏まえた地区防災計画の策定に努めます。  
(継続) 道路・河川・公園の愛護運動を推進します。  
(拡充) 地域公共交通等移動支援のあり方の協議を進めます。

### III 歴史・文化・教育

- 【方 針 1】歴史的文化財の保存と伝承に努めます。また、生涯学習の推進を図ります。  
(継続) 新たな観光・史跡案内板の設置に努めます。  
(継続) 学習センターの施設や講座を効果的に活用し、生涯学習への参加を促進します。  
(拡充) 世代間交流イベント等を実施するとともに、その機会等で伝統文化の継承を図ります。

### IV 子どもの健全育成

- 【方 針 1】子どもの健やかな成長を地域ぐるみで育みます。  
(継続) 地域による子ども見守り活動や、あいさつ運動を推進します。  
(継続) 放課後などにおける子どもの居場所づくりを地域ぐるみで進めます。  
(拡充) 松川かるたを活用した世代間交流事業を実施し、子どもの健全育成に努めます。



【松川かるた大会】

### V 健康増進・スポーツ

- 【方 針 1】健康で明るいまちづくりを進めます。  
(継続) いきいきもりん体操の実践と普及に松川地区全体として取り組みます。  
(継続) 体育協会や老人クラブ、スポーツ少年団などのスポーツ活動を推進します。

### VI 福祉

- 【方 針 1】高齢者をはじめとして地域福祉の充実を図ります。  
(新規) 高齢者などの移動支援の活動を進めます。  
(継続) 認知症サポーター養成講座や認知症模擬訓練の普及に努めます。  
(新規) 町内会との連携により高齢者のみならず地域住民の交流の場づくりに努めます。

### VII 魅力ある自然と地域産業

- 【方 針 1】史跡・伝統文化・自然などの地域資源の活用を図り、地域の活性化を進めます。  
(拡充) 史跡、伝統文化、花の観光資源を活用し、地域商店街の活性化を図ります。  
(継続) 福島大学との連携を進め、農業体験や地域イベントなどを通して地域の活性化に努めます。  
(継続) 農業の活性化に向け担い手の確保と地域振興策を検討します。  
(継続) 国道 1 3 号福島西道路南伸を見据えた地域産業活性化の取り組みの検討を進めます。



【松川提灯祭り】